

前 奏 黙想	祈 禱
讃美歌 9 ちからの主を	讃美歌 361 主にありてぞ
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 申命記 7:6~8	黙 禱
マタイによる福音書 5:13~14	主の祈り 564
讃美歌 288 たえなるみちしるべの	頌 栄 542 世をこぞりて
説 教 『貧者の塩と光』	祝 禱 後 奏

「主が心引かれてあなたたちを選ばれたのは、あなたたちが他のどの民よりも数が多かったからではない。あなたたちは地のどの民よりも貧弱であった(申命 7:7)」。もっとも貧弱な民が、世界のもっとも強大なエジプト、「ファラオが支配する奴隷の家から救い出された(7:8)」この、めまいするほどのコントラスト。政治的にも戦略的にも、人間の力では到底ありえない。それが実現したのは「ただ、あなたに対する主の愛のゆえに～主は力ある御手をもってあなたたちを導き出した(7:8)」から。

それでは「もっとも貧弱な民」だけが自由になればいいのか。二番手三番手の貧弱な民は奴隷のままでもいいのだろうか。「主は地の面にいるすべての民の中から」最貧弱の民を選ぶことで、奴隷にされている他の民に対しても自由と救いへの可能性を示したのではないか。主の決意は愛であるから(7:8)。一方でまた民の中には、安寧ならば奴隷として甘んじよう、という怠惰もある。苦難に遭うと「あのときは肉のたくさん入った鍋の前に座り、パンを腹いっぱい食べられた(出エジプト16:3)」奴隷の方がよかった、と後ろ向きになる民。民はもっとも貧弱であってこそ、主の愛と力は具体的になっていく。

「あなたがたは地の塩である(マタイ5:13)」、「あなたがたは世の光である(5:14)。「あなたがた」とは誰のことか。山に登ったイエスはそこに腰を下ろし、弟子たちが近寄った(5:1)。イエスは語り始める。「心の貧しい人々は、幸いである(5:3)。「幸いだ、心(霊)が貧しく、実際にも貧しい君たちは」といったニュアンス。だから「地の塩」であり「世の光」であるのは、第一に弟子たちを指している。

ヨハネ福音書でイエスはこう言う。「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ(ヨハ8:12)」。従う弟子たちが「世の光(マタイ5:14)」であるのは、何よりもイエスが世の光であるからに他ならない。これは文法上の直接法であり、命令法として「世の光になりなさい」と言っているわけではない。従っている事それ自体で、世の光であるキリストがこの身に帯びて来る。

「あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない(5:14)。「心の貧しい(5:3)」弟子たちは隠れようがなくキリストの光を放つ。これは危険なことであった。もっとも貧弱な者が、キリストなる神の光を放つことは危ない。権力者や政治指導者の光ならば安泰、また中間層の光ならば目こぼしされるだろう。だが最貧弱の光は、微かでも世の民すべてを照らしてしまうから危険だ。

権力者の「世の光」ならば安泰で、貧しい者の「世の光」は僅かでも圧迫される。王が「世の光」であれば、それは人間の権力そのものだから。また中間層が「世の光」を発しても、それは支配・被支配を是認するので可。ところが貧しい者が「世の光」だとすると、様々な逆転が起こる。支配の秩序から自由の秩序へ。「わたしは世の光である(ヨハ5:14)」。イエスは世の片隅で小さく語っただけだが、弟子たちに継承されて「山の上にある町(マタイ5:14)」のように隠れることがなくなった。弟子たちの、そのまた数十代めかの弟子である私たちも、キリストの命と光を受け継ぎ、ここで世の光として在る。

「あなたがたは地の塩である(5:13)」。これもまた「世の光」と同じく、キリストが地の塩であるゆえに、弟子たちも、末弟子の私たちも、地の塩としてここに在る。塩はほんの少しでいい。肉でも、野菜でも、スープでも。僅かなキリストの塩と光が、私たち自身と世をまったく違うものに変える。

足元が微かに照らされていれば歩みは止まらない 遠くまで見えなくともよい 一歩踏み出せば煌々と灯される光は人々を小さく囲い込む キリストの光は各々の光となって 囲いから放たれる
本日礼拝後は役員会。そしてカレーの日で、今日はタイカレーです。皆さん遠慮なくお召し上がり下さい。10/9(水)12:00~2:00 エステル会。10/12(土)1:30~3:00 聖研・祈祷会です。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。